

## 臨床研究実施についてのお知らせ

### 【研究課題名】

高齢者肺癌における癌化学療法の身体的影響に関する予防対策確立のための包括的研究

### 【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2022年 3月 31日

### 【研究の意義・目的】

老化は、加齢に伴い抵抗力や免疫機能が低下、慢性炎症性疾患のリスクが上昇し、生物学的な機能が低下する現象です。肺癌診療の現場において高齢者をいかに治療しケアするかは大きな課題となっています。本研究の目的は、高齢者肺癌患者において、個々の薬剤に対する身体的影響を測定することにより、効果的な治療方法、患者選択について考察し、副作用対策を確立することです。

### 【研究の方法】

大阪市立大学医学部附属病院を受診し、肺がんの化学療法を受けられる患者さんのうち、選択基準、除外基準により選別され、文書による同意が取得された患者を対象とします。化学療法前後での全身状態の把握、薬剤血液濃度測定、病理組織からの DNA 測定、採血による血液中 DNA 測定を行います。それらを解析し、肺がんに対する薬剤投与の適合性に関わる遺伝子多型性の研究を行います。また、試料提供者は、自らが与えたインフォームド・コンセントについて、いつでも不利益を受けることなく文書により撤回することができます。

### 【研究組織】

大阪市立大学医学研究科 先端予防医療学、呼吸器内科学、化学療法センター  
研究代表者 大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 木村 達郎